

令和4年度 学校関係者評価委員会 議事録

【日時】令和4年7月15日（金）10：45～11：30

【場所】こころ医療福祉専門学校壱岐校

【委員】壱岐市社会福祉協議会会長 末永 榮幸

壱岐市立老人ホーム所長 白川 昇吾

社会福祉法人博愛会特別養護老人ホームハッピーヒルズ（幸せの丘）

施設長 永田 信弘

【事務局】後藤久志、田島百合子、中原正和

【総評】

- 国家試験の日本人合格率が50%と厳しい結果であった。模擬試験の方法や補講自主学習の方法等の改善工夫が必要である。
- 就職支援に関しては、就職合同面談会を開催し、様々な施設について理解した上で進路を実現の体制が構築でき、全員が進路を実現することができた。
- 留学生については、1名が国家試験の合格を果たした。納税の指導を徹底し法令順守の意識を高めている。病院受診や各種手続きの際に職員が同行指導し、卒業後も社会生活を円滑に営めるよう支援している。
- 中学校や高校の進路説明会やガイダンスに職員を派遣し、正確な情報の伝達と広報活動に力を入れている。また、オープンキャンパスにおいては、学生の意見を直接聞く機会を設け、入学に対する不安の解消に努めている。

（1）教育理念・目標

事務局：「傍らに人あり」の精神のもとに、介護職に携わるための「介護観」や「倫理観」といった心の教育を大切にしながら、知力と実践力の両方を兼ね備えた人材の育成に取り組んでいる。オープンキャンパスや学校進路説明会などで、壱岐の介護をリードしていくための理念や目的、自己の将来像を学生・保護者と学校3者が共有し、ニーズに合った教育活動を展開する。

全学生の国家試験合格が最大の目標であるが、留学生については1名の合格者を出したものの、日本人学生の合格率は50%といった結果になり、やはり日本人学生の合格率100%、就職率100%は譲ることができない。

事務局：学校に対するニーズが中々読みにくく、評価の中でご指導いただければ、今後に役立てたいと考えております。

委員：学生達に、恩返しの気持ちがあれば頑張れると思うのだが、現在は時代も変わり、強制的な指導は難しくなっている。自分に負けず目標を見失わないで頑張ってもらいたい。

(2) 学校運営

事務局：岩永学園グループの目的を念頭に置き、地域の福祉施設との連携を図りながら、より実践的な運営方針を策定している。教育活動や募集活動等に関する情報については、ホームページに公開をしている。在学生に対しては、どのような情報を得たいのかを常に把握できるように、定期的なアンケートや面談を行い、情報収集に努め、新しい情報を発信していく。

(3) 教育活動

事務局：規則に基づいて体系的に編成されたカリキュラムを実施している。実践的な教育として、コロナ禍でありながら、市内の介護事業所の協力を得て施設実習を行っている。成績や単位評価、進級・卒業判定については、各種規程に基づいて適切に実施管理されている。外部からは教育課程編成委員会を年2回実施し、情報交換や客観的な評価を受けている。教員については、常に新しい知識と技術の維持のために、業界との連携を密に取りながら自己研鑽に努めている。また教員全体として、資質向上や指導力の向上を目指して、年数回の研修を行っている。

事務局：国家試験に向けた生徒に対する意識付けができつつあるが、個人の能力が自分で分かるよう実践させる必要があり、量より質を求めている。

委員：留学生の日本語教育が充実したものになることを願っている。

(4) 学修成果

事務局：国家試験合格を目標に定期的な模擬試験を実施し、自己の力を客観視することで、効果的な学習ができるよう支援し、また定期的な学生面談等により学習意欲の向上を図ったが、昨年度は日本人学生の合格率が50%に終わった。留学生の合格者は1名だった。

事務局：留学生については、1年生は2年生より日本語は上手である。日本人よりも家族愛が強い。ただ日本人と同じ授業を受けるが、専門用語が分からない。常に日本人と留学生と一緒に授業を受けていることを考えながら工夫していきたい。

委員：留学生の中から国家試験の合格者が出ることは素晴らしい。後輩の留学生は目標をしっかりと持って先輩の留学生の学習方法等を学び、後に続いてほしい。日本人学生も負けてはられない。

(5) 学生支援

事務局：市内の各施設と連携した合同就職面談会を実施し、積極的に就職活動を支援している。新型コロナウイルス感染流行で、課外活動においては、学生に対して十分な支援を行うことができなかった。その中で、校内の衛生管理としては、学生の健康管理に留意し、徹底した消毒や予防対策を行っている。留学生に対しては、病院受診の付添いやアルバイト事業所への送迎など、安心

して生活ができるよう支援している。

事務局：コロナ禍において、留学生の課外活動という実習先の施設、アルバイト先の事業所ぐらいである。全体として物静かで、ふれあいが持っていない。校内では調理実習で母国の料理を振舞ってみたり、警察署駐在員さんを招待しての「タガログ語」講座を行ったりはしている。衛生面ではまだまだギャップがあり、きれいにしても汚れたらそのままの状態である。日本の文化に慣れてもらいたい。

委員：コロナ禍にあつていろいろな活動が制限される中、交流的な活動がなかなかできないのが可哀そうである。

(6) 教育環境

事務局：施設備品については、リモート授業対応の教室やプロジェクターなどの備品も確保し柔軟に対応できている。施設実習についても、コロナ禍にもかかわらず、市内介護施設で受け入れをしていただき、各学年とも計画通りに行うことができた。避難訓練等を計画的に実施し、防災意識を高めている。また、AEDを使った普通救命講習も実施し、蘇生法の学習も行っている。

事務局：避難訓練は、昼間であればどうしても避難ができる。夜は寮生のみになるので、夜間の訓練が必要ではないかと考えます。

委員：対面での授業が多く行われているのは、理解度を高める上でもとても良いと思う。

委員：どの学生も礼儀正しく身なりもきちんとしている。

(7) 学生の受け入れ募集

事務局：中学校の進路説明会や高校ガイダンスにも参加したが、「壱岐のころ」の予備校と思っている人もいる。市内の施設に卒業生が多く就職しているので、どこでも働けるというのが可視化できている。それならここに通わせるという判断になる。

委員：就職先として学校OBを頼ってもらってもいいのではないかな。

事務局：今回壱岐テレにも出演し、ホームページでも紹介されております。

委員：メディアを使った広報活動はとても有効であると思う。

(8) 財務

事務局：島内の高校生的人数も減少している。長期的な成果を見込んで、早い段階から対象者や保護者向けの広報活動を展開し、確保を目指したい。予算・収支計画については、適切な管理を行うとともに、適時監査を実施し、適正な運用がなされている。財務情報についてはホームページでも公開している。

事務局：公立の場合は、学生ばかり見ていけばよいが、私立ではそうはいかない。

委員：公務員は業務をこなせばよいが、民間は利益を出さないといけない。

(9) 法令等の遵守

事務局：個人情報の保護等についてもセキュリティを万全に行い対応している。自己評価の実施については全職員・学生を対象に行い、学校評価委員会で、評価・改善を行っている。その結果についてもホームページで公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

事務局：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大きく制限が課せられることになった。感染症対策を十分に行った上で、地域の清掃ボランティアは継続して実施できた。また、アルバイト先の事業所も積極的に受け入れをしていただき、学生の頑張りに応じてもらっている。

事務局：コロナ禍で最近地域交流ができていない。イベントが再開されれば、新春マラソンやウルトラマラソンなど参加すべく、行政に要請したい。

委員：コロナが落ち着いてくれば、充実した活動や地域からのボランティア活動のニーズは高くなると思うので、もうしばらくの辛抱である。

(11) 国際交流

事務局：留学生の受け入れについてはグループ内の連携をもって積極的に行っている。留学生の在籍管理については、グループ内の情報共有と適正校としての自覚をもって適切に行っている。日本語能力に個人差があり、細かいところが微妙に伝わらない。入管や市町村の届けなども時間が必要で、オーバーワークにも神経を使っている。

事務局：本日はお忙しい中、貴重なご意見をたくさんいただき感謝しております。明確になった課題については、改善のための具体的な方策を立てて、今年度に生かします。そして、今年度の学生・職員の評価が去年のポイントを上回るように学校経営を行います。コロナ禍で学生には不自由な学校生活を送らせている現状ではありますが、コロナ感染症の早期収束を願いつつ、知恵を出し合ってより良い学校運営を行います。また市内唯一の介護職養成の専門学校として、学生・保護者・地域に貢献をしてまいります。皆様におかれましても、積極的に関わっていただき、学生たちにより多くのことを勉強させていただきたいと思っておりますので、どうぞこれからもご指導・ご意見を賜りますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

令和4年度 学校関係者評価報告書

社会福祉法人壺心会
こころ医療福祉専門学校壺岐校

令和4年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1 開催日時

令和4年7月15日 10:45～11:30

2 場所

こころ医療福祉専門学校沓岐校 1F相談室

3 出席者

【学校関係者評価委員】(敬称略)

	出欠	氏名	所属	役職名
1	出席	末永 榮幸	沓岐市社会福祉協議会	会長
2	出席	白川 省吾	沓岐市立老人ホーム	所長
3	出席	永田 信弘	特別養護老人ホームハッピーヒルズ	施設長

【学校関係者委員・事務局】

	出欠	氏名	所属	役職名
1	出席	後藤 久志	こころ医療福祉専門学校沓岐校	校長
2	出席	田島百合子	こころ医療福祉専門学校沓岐校	学科長
3	出席	中原 正和	こころ医療福祉専門学校沓岐校	事務局

4 こころ医療福祉専門学校老岐校「平成4年」

基準1 教育理念・目的・育成人材像

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	理念・目的・育成人材像は定められている。	4
2	学校の特色として挙げられるものがある。	4
3	学校の将来構想を描き，3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いている。	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

- ・ここ数年「傍らに人あり」の精神を大切にやってきたが、4年度からは「地域のために」の精神を大切にし、心のこもった介護を施せる人材育成に努めたい。
- ・恩返しの気持ちがあれば頑張れると思うのだが、現在は時代も変わり強制的な指導が難しい。自分に負けず目標を見失わないで頑張してほしい。

基準2 学校運営

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	学校運営方針は明確に定められ，きちんと教職員に明示され，伝わっているか，また，それを基にした各種諸規程が整備されている。	4
2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており，学校は事業計画に沿って運営されている。	4
3	運営組織や意思決定機能は，効率的なものになっている。	3
4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されている。	3
5	意思決定システムは確立されている。	3
6	情報システム化等による業務の効率化が図られている。	3

(2) 学校関係者委員評価・意見

- ・「凡事徹底」を合言葉に組織体として機能する体制づくりを行う。

基準3 教育活動

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	各学科の教育目標，育成人材像は，その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。	4
2	各学科の教育目標，育成人材像を構成する知識，技術，人間性等は，業界の人材ニーズレベルに照らして，学科の教育期間を勘案して，到達することが可能なレベルとして，明確に定められている。	4
3	カリキュラムは体系的に編成されている。	4
4	学科の各科目は，カリキュラムの中で適正な位置付けをされている。	4
5	授業評価の実施・評価体制はある。	4
6	育成目標に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保している。	4
7	成績評価・単位認定の基準は明確になっている。	4
8	資格取得の指導体制はある。	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

- ・継続した留学生への日本語教育の充実を願う。

基準4 学修成果

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られている。	4
2	資格取得率の向上が図られている。	4
3	退学率の低減が図られている。	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

- ・すべての学生がまじめに学んでいるのがわかる。
- ・留学生の国家試験合格は素晴らしい。

基準5 生徒支援

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能している。	4
2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能している。	4
3	生徒の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能している。	4
4	生徒の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能している。	4
5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能している。	2
6	学生寮等、生徒の生活環境への支援は行なわれている。	4
7	保護者と適切に連携している。	4
8	卒業生への支援体制がある。	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

- ・留学生の目的意識が保てるような指導が必要である。
- ・コロナ感染症により、課外活動が制限されているのは残念である。

基準6 教育環境

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されている。	4
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備している。	4
3	防災に対する体制は整備されている。	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

- ・実習では、どの学生も礼儀正しく身なりもきちんとしていて学ぼうという姿勢が表れている。
- ・対面での授業が多いのは学生にとってわかりやすいと思う。

基準7 生徒の募集と受け入れ

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	生徒募集活動は、適正に行なわれている。	4
2	生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられている。	4
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている。	4
4	学納金は妥当なものとなっている。	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

- ・工夫を凝らした広報活動が行われている。
- ・オープンキャンパスの実施は大変意義がある。
- ・ケーブルテレビ等、メディアを使った広報は有効である。

基準8 財務

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	中長期的に財務基盤は安定しているといえる。	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	4
3	財務について会計監査が適正に行われている。	4
4	財務情報公開の体制整備はできている	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

- ・市内唯一の専門学校としての期待は大きい。特に市内の介護人材の育成についての期待は高いので、継続した教育活動をお願いしたい。

基準9 法令等の遵守

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	法令，設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	4
2	個人情報に関し，その保護のための対策がとられている。	4
3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めている。	4
4	自己点検・自己評価結果を公表している。	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

・特になし

基準10 社会貢献

適切：4，ほぼ適切：3，やや不適切：2，不適切：1

	点検項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっている。	4
2	生徒のボランティア活動を奨励，支援している。	4

(2) 学校関係者委員評価・意見

・コロナ感染症がある程度落ち着けば、充実した活動や地域からのニーズも増えてくると思われる。

【全体的な意見】

- ・コロナ禍にあつて、現時点では課外活動を行うことは極めて難しいと思う。
- ・少子化が進み、学生の確保等苦勞されていると思うが、市内唯一の介護人材養成機関として期待されているので頑張ってほしい。
- ・うちの施設に受け入れを行った実習生の方々は皆さん礼儀正しく、身なりも清潔であり、職員の指導に対しても真剣に学習しようという姿勢が見られる。我が国の介護職員の処遇も年々改善の傾向にあるので、貴校の教育理念である「地域のために」の精神を大切にし、心のこもった介護を施せる人材育成を今後も願います。